

【目次】

- 【1】 関西支部工場見学会のご案内
- 【2】 支部メンバーコラム (大阪大学:三森八重子先生)
- 【3】 各研究会(全国・支部)の活動
- 【4】 他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内
- 【5】 その他お知らせ・ご連絡

♪==♪==♪==♪==♪==♪==♪

日本生産管理学会関西支部・メルマガ受信希望者各位

大阪学院大学の葛西です。

10月の声を聴き、朝晩肌寒さを感じる頃になりました。一気に秋がやってきたように感じます。

先日、和歌山電鉄貴志川線の電車に乗りました。たまたま乗ったのが「たま電車ミュージアム号」。写真や鳴き声に囲まれ、田園風景の車窓とあわせ、少しの間でしたが、とてもゆったりと幸せな気持ちで乗車できました。

和歌山電鉄貴志川線の終点、貴志駅は、かの有名な三毛猫たまが駅長を務めています。和歌山電鉄は2006年当時、廃線の危機にありましたが、たまが駅長を務めるようになって過去最高の利用者数を記録するなど、経営再建に大きく貢献しました。経営波及効果はたまが駅長に就任した2007年1年間だけで11億円と見られました。ローカル線の経営はいまだ困難な側面は多々ありますが、人の心に寄り添うさまざまな新しい取り組みが道を開くのだと改めて感じました。

10月31日、関西支部の工場見学会で、島精機様を訪問します。電車でお越しの方は、この和歌山電鉄貴志川線にお乗りいただき、神前(こうざき)駅で下車します。もしかしたら、ミュージアム号に乗れるかもしれません。ぜひ見学とともに貴志川線もお楽しみいただければと思います。

発行: 日本生産管理学会関西支部

連絡先: 葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

**【1】関西支部工場見学会のご案内**

日本生産管理学会関西支部として、下記のように工場見学会を実施することといたしました。

当社は国内を代表する和歌山県の横編機メーカーです。無縫製ニット製品の製造機械「ホールガーメント R (WHOLEGARMENTR)」横編機をはじめ、オリジナルのデザインソフトや自動裁断機など、多様な製造機械を開発製造し、世界中で利用されています。今回は60周年を迎え、サステナブルなものづくりを目指した当社の事業内容と将来展望、各種製造機械についてのお話をお伺い、工場内を視察させていただきます。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

**SHIMA SEIKI**

==記==

**1. 見学先**

株式会社 島精機製作所 〒641-8511 和歌山市坂田 85 番地

電話 (073) 471-0511 (代) URL. <https://www.shimaseiki.co.jp/>

**2. 実施日・スケジュール**

**2022年10月31日(月) 13:30~16:00 (予定)**

13:30~14:00 企業・事業説明

14:00～15:30 工場・ショールーム見学

15:30～16:00 質疑応答

※見学終了後、希望者で和歌山駅周辺にて、懇親会を行います。

**3. 参加費** 無料（現地までの交通費、及び懇親会は参加者負担）

#### **4. 集合先**

(1) 電車でお越しの方:わかやま電鉄貴志川線神前(こうざき)駅 13 時 10 分集合

(2) タクシーでお越しの方:島精機製作所本社正門 13 時 20 分集合

(3)自家用車でお越しの方:本社建物入り口前（構内に駐車場があります。）

**5. 申込方法・期限**（\*同業者はお断りする場合があります）

下記宛先にメールにて下記項目をお知らせください（このメールに返信できません）

宛先:葛西恵里子([ekasai@hi-ho.ne.jp](mailto:ekasai@hi-ho.ne.jp))

連絡項目:

(1)お名前 (2)所属 (3)緊急連絡先(携帯番号等) (4)交通機関 (5)懇親会参加希望有無

申込期限:2022 年 10 月 18 日(火)まで

#### **6. 企業概要**

1962 年、手袋の全自動編機の開発製造事業で創業。

その後、全自動横編機の開発に成功し、横編機の世界的なトップメーカーとなった。

オリジナルのデザインシステム、自動裁断機、インクジェットプリンティングマシンなど関連の製造機械を次々と開発し事業化を進め、1995 年には完全無縫製のコンピューター横編機（ホールガーマント R）を開発し、現在はそれら多様な機械やデザインソフトに加え、糸の検索・閲覧サイトの運営など幅広く事業を展開している。

\*「ホールガーマント及び WHOLEGARMENT」は株式会社島精機製作所の登録商標です。

みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

### **【2】支部メンバーコラム（大阪大学:三森八重子先生）**

毎回支部メンバーから、研究や近況、日頃の関心についてなどを、コラムとして紹介しております。

第 6 回目となります今回は、大阪大学:三森八重子先生から寄稿いただきました。

## **PIMET2022 参加報告**

COVID-19 のため 2 年間開催が見送られてきた PICMET 国際学会が、2022 年 8 月に 3 年ぶりに開催された。オレゴン州ポートランド市で開催された PICMET2022 を報告する。

PICMET は Portland State University の Department of Engineering and Technology Management を母体として設立された非営利団体を中心となり開催されている MOT 関連の国際学会である。1989 年に「Technology Management: The New International Language」をテーマに初めて開催された。発足当初は 2 年に 1 回の開催だったが、2004 年から毎年開催されるようになり、2019 年には 30 周年記念大会を開いたほど由緒ある国際会議である。COVID-19 のために 2020 年と 2021 年は開催が見送られ、2022 年 8 月に 3 年ぶりにオレゴン州ポートランド市で開催された。



(PICMET シンボルマーク 画像をクリックすると HP に飛びます)

今年の PICMET には、34 か国の 200 以上の大学、政府機関、企業の研究者から、837 本の論文が提出され、2 段階の厳格な査読プロセスを通った 193 本の論文発表があった。

会議は、2022 年 8 月 7 日から 11 日までの 5 日間にわたって行われた。初日の 8 月 7 日は、Ph.D



Colloquium (博士学生会議) とオープニングパーティが行われ、8 日から 11 日までは、毎朝、著名な研究者を招聘しての Plenaries (全体セッション) が開催された後、分野ごと 7 つの部屋にわかれたパラレルセッションが 4 日間終日行われた。パラレルセッションの後の夕刻には、出席者が一堂に会して毎晩パーティが開催され、参加者同士で活発な情報交換や意見交換が交わされた。

とりわけ 9 日の夜には「Awards Banquet (受賞の祝宴)」が開催され、博士学生論文の優秀賞(Student Paper Award)が発表されたほか、今回新たに PICMET fellows に選出された研究者 11 人が表彰された。この 11 人には、米 University California Berkely の Henry Chesbrough 教授や米 MIT の James M. Utterback 教授など日本でも著名な研究者が含まれた。

(DoubleTree by Hilton Portland にて開催)

PICMET は生産管理を含む幅広い研究分野をカバーする、いわばオムニバスな国際会議であり、国際的にも注目度の高い、そして prestigious な (評価の高い) 国際会議である。何よりの魅力は、ブレックファーストでベーグルをかじりながら、コーヒーブレイクでコーヒーをすすりながら、そして夕方のキャッシュバーでビールを片手に、世界からやってきた多様な研究者と意見交換・情報交換ができる点だ。日本生産管理学会の参加研究者にも今後は是非積極的に参加していただきたい。(了)



(PICMET President & CEO の Dr. Dundar F. Kocaoglu 氏と筆者)

(文責:大阪大学 三森八重子 [dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp](mailto:dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp))

### **【3】生産管理学会関西支部各研究会(全国・支部)の活動**

関心のある研究会がございましたら、直接各「連絡先」までご連絡ください。

<1>生産性向上研究会(旧食品産業研究会を発展的に継承)

・次回予定: 10/22(土) 14:00~17:00,

- 場所:Web 開催  
次々回予定:11/26(土), 14:00~17:00  
場所 : Web 開催もしくは対面実施  
・連絡先:林 芳樹 (kyo884@khaki.plala.or.jp)

<2>SDGs のビジネス戦略研究会

- ・次回予定: 日程未定(11 月ごろ検討中)  
場所:オンラインのみ・またはオンラインと対面併用(場所は対面希望者により決定)
- ・連絡先:入江安孝(yirie@iriesys.jp)

<3>新資本主義研究会 (SDGs のビジネス戦略研究会と同時開催)

- ・次回予定: 日程未定(11 月ごろ検討中)  
場所:オンラインのみ・またはオンラインと対面併用(場所は対面希望者により決定)
- ・連絡先:入江安孝(yirie@iriesys.jp)

<4>関西生産管理資格制度研究会

- ・次回予定:11/20(日)10:00~11:30 オンライン会議 (Zoom)
- ・連絡先:柏原秀明(kasihara@mbx.kyoto-net.or.jp)

<5>ブロックチェーン研究会

- ・次回予定: 未定(12 月ごろを予定)
- ・連絡先:森山真光 ([moriyama@info.kindai.ac.jp](mailto:moriyama@info.kindai.ac.jp))

<5>学校給食における生産性向上

- ・次回予定:未定
- ・連絡先:葛西恵里子 ([ekasai@hi-ho.ne.jp](mailto:ekasai@hi-ho.ne.jp))

**【4】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内**

<1>【日本経営システム学会】ニューノーマル研究部会

大阪大学の三森先生より、下記の研究会のご案内を頂きました。興味をお持ちの方は、奮ってご参加ください。

=====

【ニューノーマル研究部会 2022 年度第 7 回会合（通算 13 回）（政策分科会）の開催について】

=====

■日時：2022 年 10 月 8 日土曜日 14：00-15:30

■開催方法：Zoom を用いて開催

■講演タイトル：「バングラデシュの製薬産業の動向：LDC からの卒業と物質特許導入の影響」

■講師：S. M. Abdur Rahman 先生（ダッカ大学薬学部教授）

■講演内容：

バングラデシュは後発開発途上国(LDC)の1か国であるが、LDCとして例外的に“つよい”医薬品産業を持つ。バングラデシュは世界貿易機構(WTO)の加盟国であるが、LDCであるため、「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定(TRIPS)」がWTOの全加盟国に求めているTRIPS準拠の強い特許(物質特許)を医薬品分野に導入することを猶予されている。そのためほかの国では物質特許に守られている先発医薬品も、バングラデシュではコピーして製造し、「ジェネリック医薬品」として販売することが認められている。これを1つの理由としてバングラデシュの製薬産業は高い成長率を達成してきた。この医薬品産業の急成長もあり、バングラデシュ経済は足元急速に成長を遂げ、既に国連が定めているLDCの卒業要件を満たし、2026年にもLDCからの卒業が見込まれている。LDCからの卒業はバングラデシュにとって名誉なことであるが、卒業と同時にLDCゆえに享受している様々な優遇措置も失うことになる。本講演では、LDCからの卒業がバングラデシュの製薬

産業へ与える影響を各種データを使って分析する。

Bangladesh is categorized to Least Developed Country (LDC). Unusual as an LDC, Bangladesh has a strong pharmaceutical industry. Because of its LDC status, Bangladesh has been enjoying several preferential treatments. For instance, the WTO Agreement on Trade-Related Aspects of Intellectual Property Rights (TRIPS), the most comprehensive multilateral agreement on intellectual property (IP), provides an extended transition period for LDCs until 2034. TRIPS also offers a special exemption for introduction of TRIPS compatible IPR system for LDCs. Now the country faces a new challenge: Partly due to the country's strong pharmaceutical industry, Bangladesh was decided to graduate from LDC in 2026. Once Bangladesh graduates from LDC and becomes a developing country, Bangladesh will lose these preferential treatments. The country will require to introduce a TRIPS compatible patent law. Bangladesh has been busily preparing to be a developing country. As part of its efforts, Bangladesh in April 2022 revised its patent law and enacted a new patent law, Patent Law 2022. This speech will examine what kinds of impacts Bangladesh would sustain from graduation from LDC, and discuss future prospects of Bangladesh after graduation.

■講師略歴：

Dr. S. M. Abdur Rahman is Professor & Chairman of Department of Clinical Pharmacy and Pharmacology, University of Dhaka. He earned Ph. D. degree in Molecular Pharmaceutical Sciences from Osaka University, Japan. He was awarded Japan Science and Technology Agency (JST) post-doctoral fellowship and Japan Society of Promotion of Science (JSPS) fellowships in 2002 and 2004 respectively. He returned back to Bangladesh in February 2008, and was promoted to Associate Professor. Dr. A. Rahman was promoted to full professor in 2012. Dr. Rahman served as the Dean of the Faculty of Pharmacy from January 2017 to January 2022.

Dr. Abdur Rahmanは大阪大学の薬学研究科より博士（薬学）を取得し、JST ポスドク・フェロー、JSPS フェローを経て2008年にバングラデッシュに帰国した。その後ダッカ大学薬学部准教授を経て2012年に教授となった。2017年から2022年までは薬学部長を務め、現在はダッカ大学の薬学部の教授兼臨床薬学及び薬理学研究科のチェアマンを務めている。

■参加方法：以下の URL から出席可否の登録をお願いしております。

<https://forms.gle/TNa6doMfr5NCgJ817>

参加登録者には後ほど ZOOM 招待状をお送りします。

※ご不明な点がございましたらご連絡ください。

三森八重子・大阪大学招聘教授 dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp

## 【5】その他お知らせ・ご連絡

### ・次回メルマガ情報提供のお願い

本メルマガは、関連の皆様の情報で作り上げていきます。

以下の情報をお持ちでしたら、末尾「連絡先」までご一報ください。

なお、次回発行は2022年12/上～中旬を予定しています。

2022年11/末を目途に連絡をいただくと幸いです。

◎署名記事を募集します。ぜひ日頃皆さまがお考えのことをご披露いただき、議論の場にしていただければと思っております。

◎他学会・他支部、その他関連講演会、書籍出版等、の情報があればお知らせください。

### ・読者募集・拡散のお願い

本メルマガは、支部内外・学会内外に関わらず、拡散歓迎です。生産管理に興味をお持ちの方に広く知っていただけますと幸甚です。継続して受信希望のある方は、直接送付いたしますので、末尾「連絡先」までご一報ください。

また、Facebookの**フォロー/いいね!**もぜひお願いいたします。  
Facebook 一般社団法人日本生産管理学会関西支部 のページ

<https://www.facebook.com/jspmkansaihibu/>



本日の内容は以上です。

朝晩急に寒さなくなってきました。体調にお気をつけてお過ごしください。

---

発行：日本生産管理学会関西支部

連絡先：葛西恵里子 (ekasai@hi-ho.ne.jp)

---

\*このメールは日本生産管理学会関西支部会員および学会内外の希望された方へ配信しています。

また、このメールの配信リストに登録の各位のアドレスは、生産管理学会のリストと同期できません。アドレス変更をされる場合は、上記連絡先までご一報ください。